

Co-Create!

未来をともに創りだそう

EXHIBITION INFORMATION

7/17 WED 18 THU 19 FRI

Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
10:00-17:00

本誌に記載の開催時間・企画等は変更となる場合がございます。最新情報は公式サイトをご確認ください。

事前登録制▶

2024年
6月4日(火)~

ONLINE STAGE 2
7/10 日 7:10 日-7/31 日



人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA

過去最大規模で開催!

展示・講演企画を多数実施!

出展社数 **300** 社以上

出展小間数 **850** 小間以上

展示総面積 約 **20,000** m²



※展示総面積は展示ホールE・Fの総面積です。出展小間数および出展社数は4月1日(月)時点での予定数です。

ご来場までの流れ

ご来場前に、必ず事前登録をお済ませください。

事前来場登録はこちら▶
<https://aee.expo-info.jiae.or.jp/ja/>



1 公式サイトで
事前に来場登録!



2 展示内容を
オンライン展示会で
事前にチェック!



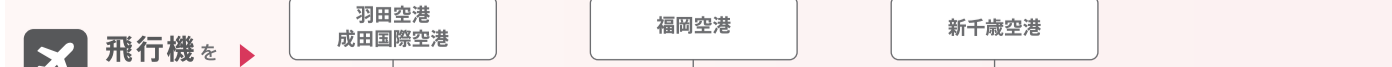
3 入場証を
A4カラー印刷し、
会場に持参。



本展示会は、完全事前登録制(入場無料)です。
「QRコード」または「URL」から事前登録を行ってください。
当日登録の受付はございません。



アクセス Access



JSAE企画展示

英知を集結しよう! カーボンニュートラル、その先の循環型社会へ

私たちは、「The triple planetary crisis」という3つのリスク(気候変動、生物多様性喪失、資源浪費)に直面し、「地球は有限である」ということを再認識する時代に生きています。

ここ数年、日本をはじめとする多くの国・地域は2050年カーボンニュートラルを目指した取り組みを加速させるとともに、社会構造そのものの変革による持続可能な社会の実現を目指しています。そのカギとなるのは、「共創」と「循環」であると考えています。

これまでのような「資源の採掘〜製造〜廃棄」というリニア型から、「3R」「リデュース・リユース・リサイクル」に「リニューアブル」も加えた「4R」に代表される「循環」型社会システムへの変革が必要となっています。「循環」型社会システムの実現には、単に廃棄物をリサイクルすることではなく、私たち一人ひとりが、「つくる責任、つかう責任」の価値基準へと転換していくことも求められます。

“くるま”のライフサイクル全体を見ながら脱炭素化に向けた取り組みを進めるためには、今まで当たり前だと思っていたことを疑い、新しい視点で物事を捉え、新しい仲間と「共創」してチャレンジすることが欠かせません。

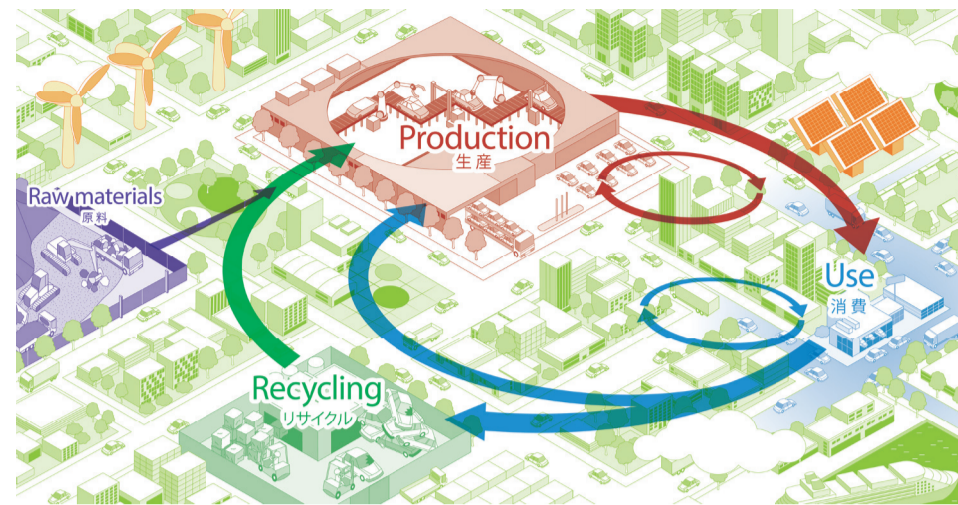
「人と地球を幸せにする技術とはなにか」を問い、新たなバリューチェーンを仲間と共に築きあげていく。

“くるま”に携わる全ての皆さまの英知を集結する「場」として、「人とくるまのテクノロジー展2024」にお集まり頂ければ幸いです。

「知恵・技・匠」で共創しバリューチェーン全体で循環型社会を実現しよう!

名古屋では、自動車産業バリューチェーン全体での循環型社会の実現に向け、新しい仲間との共創を紹介します。「循環」をキーワードに、自動車ライフサイクルにおけるGHG算出、カーボンフットプリント削減や資源の再利用に対して有効となるトレーサビリティ、使用済みの車両から資源を回収・分別する静脈産業の技術も展示しています。循環型社会の実現に向けて「知恵・技・匠」で皆さんと一緒に考える「場」になれば幸いです。

展示協力企業・団体(五十音記載)
内山工業株式会社/静岡大学/ジヤコト株式会社/スズキ株式会社/ゼファー株式会社/株式会社ゼロボード/SOLIZE株式会社/株式会社TBM/株式会社デンソー/東レ株式会社/トヨタ自動車株式会社/トヨタ車体株式会社/豊田通商株式会社/株式会社本田技術研究所/マツダ株式会社/三菱電機株式会社/早稲田大学理工学術院 所千晴研究室



自動運転企画講演

会議室 L3+L4 (定員: 約 300名)

自動運転をテーマにした企画講演です。

7/18 THU 11:00-12:00

モビリティ・イノベーション-自動運転の社会実装と未来

自動運転の社会実装によるモビリティ・イノベーションは、自動車産業への影響はもちろん、自動車や公共交通の在り方、街づくりなど、社会システムの変革を導くものと思われます。また、カーボンニュートラルや働き方改革への対応なども期待されます。これらの動向を紹介します。

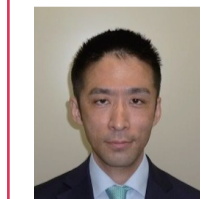


東京大学
モビリティ・イノベーション連携研究機構長
生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター
教授
須田 義大氏

7/18 THU 16:00-17:00

自動運転の推進とあいちデジタルアイランドプロジェクトについて

愛知県が県内3地域で推進している自動運転の社会実装を目指す取組や、中部国際空港島及び周辺地域において2030年に世の中の普及が見込まれる近未来の事業・サービスを先行して実用化することを目指す「あいちデジタルアイランドプロジェクト」について説明します。



愛知県庁
次世代産業室
室長補佐
中野 秀紀氏

JSAE中部支部企画講演

JSAE 中部支部による企画講演です。

会議室 L3+L4 (定員: 約 300名)

7/17 WED 13:30-14:30

EVが気持ちよく活躍するモビリティシステムの開発

カーボンニュートラルに向けてEVの導入が進む中、EVが持つ本来の走りや空間提供能力を引き出す駆動システム、更には搭載電池やエネルギーの価値を最大限に活用できるインフラの提供が望まれています。本講演では、日立が推進する次世代駆動システムやマルチポートEVチャージャーなど関連技術の開発事例について紹介します。



株式会社日立製作所
研究開発グループ
主管研究員
中津 欣也氏

7/17 WED 16:00-17:00

森林情報のDX化とCO₂吸着量について

森林情報のデジタル化は急速に進展しています。そのきっかけは航空機LiDARによる森林計測技術の進展ですが、最近ではUAVや高解像度衛星など様々な計測技術も進展しています。それらの応用の一つがCO₂吸着量推定ですが、今回はそれに関わる森林情報のDX化の重要性と課題について話題提供させていただきます。



名古屋大学
大学院生命農学研究所
教授
山本 一清氏

展示ホール

JSAE企画講演

会議室 L3+L4 (定員: 約 300名)

テーマに沿った講演をお届けします。

7/17 WED 11:00-12:00

第五次循環基本計画と自動車関連施策の最近の動向について

令和6年夏頃の策定予定の第五次循環型社会形成推進基本計画の内容と自動車のライフサイクル全体での資源循環を促進するための国の施策の最新の動向を御紹介します。



環境省
環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室
室長補佐
湯山 桃子氏

7/19 FRI 11:00-12:00

サーキュラーエコノミーを支える解体・分離技術プロセス開発戦略

サーキュラーエコノミーを実現するためには、現状よりも自在かつ省エネルギーな解体・分離を実現する必要があります。そのためには、革新的な技術やプロセスを開発すると共に、易解体設計を進める必要もあります。講演では自身の研究例もご紹介します。



早稲田大学・東京大学
理工学術院・大学院工学系研究科
教授
所 千晴氏

技術開発特別講演

開発にかけた熱意、思い入れを語っていただく特別講演企画です。

オンライン
配信限定

7/16 TUE 10:00-7/19 FRI 23:59

16代目クラウン

新型クラウンでは、初代より脈々と受け継がれてきた「革新と挑戦」のスピリットを基盤に、お客様一人ひとりの価値観や多様化するニーズにお応えするモデルの開発を進めてきました。また「日本のクラウン」を「世界のクラウン」としてグローバルブランド展開にも挑戦。新しい時代のクラウンとして誕生した「クラウン群」について紹介します。



トヨタ自動車株式会社
Mid-size Vehicle Company
チーフエンジニア
清水 竜太郎氏



講演に関する最新情報は公式サイトをご確認ください。

▶ 講演は、展示会場とアーカイブ配信でお届けします。
現地聴講をご希望の場合は、公式サイトでの事前予約が必要です。

会場: 展示ホール

2019年以降、5年ぶりに現地開催!

出展社セミナー

出展社が30分間のプレゼンテーションを通じて、製品・技術情報や企業・業界情報などを詳しく紹介します。

スケジュールは、公式サイトをご確認ください▶▶▶



最新技術を搭載する車両を一堂に集め、それぞれの車両が持つ技術を学べる企画です。



ISUZU GIGA



HINO Fuel cell electric heavy-duty truck



HINO N-MOBI



NISSAN ARIYA



TOYOTA CROWN "CROSSOVER"



TOYOTA CROWN "SPORT"



MAZDA



HONDA N-VAN e:



HONDA SC e: Concept



YAMAHA ELOVE (AMSAS)



YAMAHA MOTOR0iD2

フォーラムNAGOYA

自動車技術・産業および関連分野について最新の動向や将来の展望を紹介する講演会を現地開催します。プログラム詳細は公式サイトをご確認ください。

会議室 L1 (定員:約250名)

▶ 聴講をご希望の場合は公式サイトでの事前予約が必要です。

7/17 WED 13:00-17:00 将来のモビリティを考える:電動化と脱炭素への知恵 | 企画: 電気動力技術部門委員会/モータ技術部門委員会/蓄電システム技術部門委員会/車載用パワーエレクトロニクス技術部門委員会

7/18 THU 13:00-17:00 "まちづくり" から見た持続可能なモビリティ社会 | 企画: 持続可能な自動車社会検討部門委員会/モビリティ社会部門委員会

7/19 FRI 13:00-17:00 パワートレインの戦略と周辺技術動向 -2050年カーボンニュートラルの実現に向けた内燃機関の可能性- | 企画: ガソリン機関部門委員会

中部支部研究発表会

JSAE 中部支部所属の技術者を中心とした研究発表会です。

Table with 4 columns: Date, Topic, Speaker, Abstract. Includes sessions for 7/18 THU, 1st and 2nd venues.

Table with 4 columns: Date, Topic, Speaker, Abstract. Includes sessions for 7/18 THU, 2nd venue.

▶ 聴講をご希望の場合は公式サイトでの事前予約が必要です。

- List of exhibitors including: アークイティブィップス株式会社, rpro Limited, 株式会社コーレンス, etc.

人とするまのテクノロジー展 2024 NAGOYA 公式サイト案内図。オンライン展示会活用ガイド、検索機能、見学リスト作成、デジタルMAP自動反映などの機能を説明しています。

スタートアップ・アカデミア出展社。エレファンテック株式会社, トランスミット株式会社, 株式会社マークアビリティなど。